



トップチョイス
フロアブル

殺虫剤
芝用

農林水産省登録
第23970号

適用病害及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(薬量)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む 農薬の総使用回数
芝	シバツトガ	3000~4000倍 (0.05~0.066mℓ/m ²)	200mℓ/m ²	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	ケラ	7500~10000倍 (0.05~0.066mℓ/m ²)	500mℓ/m ²				

●シバツトガに対する推奨薬量：0.05mℓ/m²（希釈倍率4,000倍/水量200mℓ/m²）

●ケラに対する推奨薬量：0.0625mℓ/m²（希釈倍率8,000倍/水量500mℓ/m²）

有効成分と性状

種類	フィプロニル水和剤
製品名	トップチョイスフロアブル
有効成分の種類 及び含有量	(±)-5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ- α,α -トリフル オロ-p-トリイル)-4-トリフルオロメチルスルフィ ニルピラゾール-3-カルボニトリル………9.1%
その他の成分の 種類及び含有量	水、界面活性剤等………90.9%
有効成分	フィプロニル………9.1%
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
毒性	劇物
荷姿	250mℓ×4

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性	急性経口	ラット(♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	急性経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼一次刺激性	ウサギ	極軽度刺激性
	皮膚感作性	モルモット	中等度感作性
水産動植物に 対する影響	コイ		LC ₅₀ (96hr)=15.8mg/ℓ
	オオミジンコ		EC ₅₀ (48hr)=0.057mg/ℓ
	藻類		ErC ₅₀ (0-72hr)=249mg/ℓ

安全使用上の注意事項

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けてください。本剤使用中に体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 散布の際には防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業着などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼・うがいをするのと同時に衣服を交換してください。
- 散布時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- 吸入した場合には、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受けてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。また、養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- かぶれやすい体質の人は十分に注意してください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後(最小限その日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児や人畜等に留意してください。
- 漏出時は保護具を着用し、布、砂等に吸収させて回収してください。
- 移送取扱いは、丁寧にしてください。
- 食べられません。
- 有効年月日内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後は取扱いおよび作業をしないでください。

貯蔵上の注意事項

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。
- 盗難、紛失の場合は、警察に届け出てください。
- 毒性等……水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに
①人の健康と福祉 ②自然との共存 ③市場・社会とのパートナーシップ
を柱として様々な活動を実施しています。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5

【お客様相談室】 ☎ 0120-575-078 FAX: 03-3218-3068

受付時間 平日 9:00~12:00 / 13:00~17:00

ホームページ

www.environmentalscience.bayer.jp

お問い合わせ先

(ES-759) NYP 印刷：平成30年1月



トップチョイス
フロアブル

殺虫剤

芝用

新規作用性のフィプロニルが効く





トップチョイス フロアブル

殺虫剤

芝用

特長

- 新しい作用機作（抑制性シナプスの GABA 受容体に作用）
- シバットガに対しローテーション剤としての新たな選択肢
- ケラに対してアメリカで長年の実績と高い評価
- 日本芝、ベントグラスに対して高い安全性
- 使用薬量が少なく、臭いが少ないフロアブル剤



シバットガ

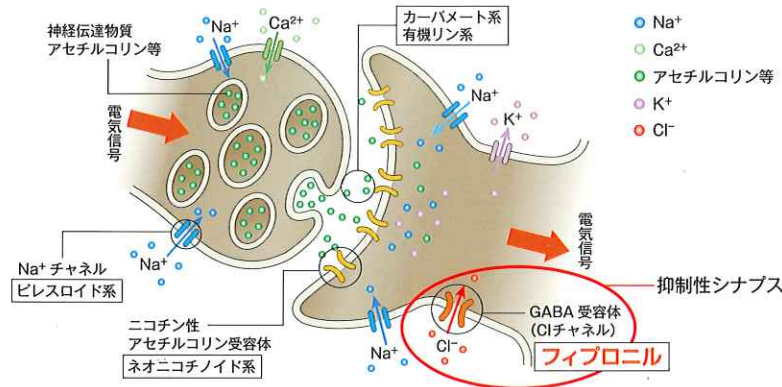


ケラ

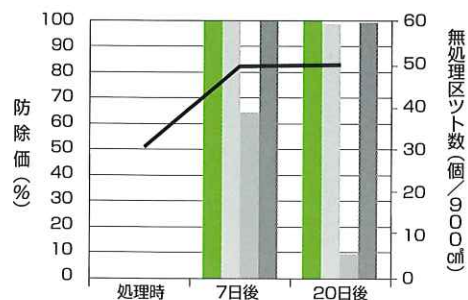
フィプロニルと各殺虫剤の作用部位

フィプロニルの作用機作

GABA受容体に作用
↓
Cl⁻チャンネルからのCl⁻の流入を阻害
↓
神経細胞内のプラス電位を打ち消せず、プラスイオンが蓄積
↓
神経内の電位差がなくなり信号の伝達ができなくなる



シバットガに対する防除効果（8月処理）—多発生時期においても20日の残効性—



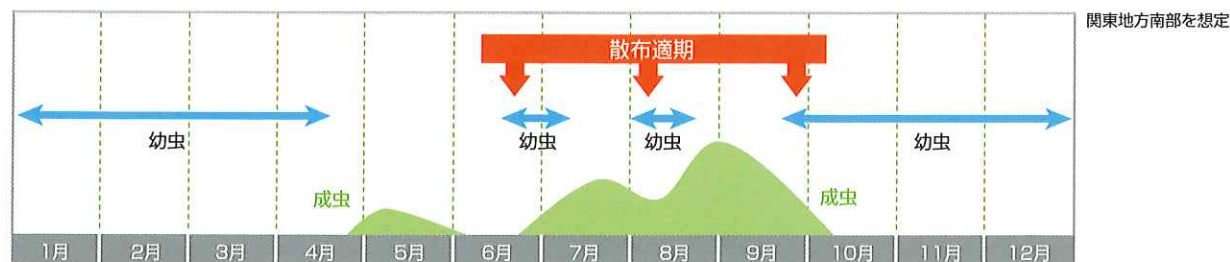
8月処理			
試験場所	四国地方Bゴルフ場		
処理時期	8月処理		
処理日	2017年8月4日		
調査日	2017年8月11日(7日後)		
	2017年8月24日(20日後)		

■ トップチョイス0.05mℓ/m² (200mℓ)
■ リラクDFO.15g/m² (300mℓ)
■ 合成ピレスロイド系殺虫剤A 0.1mℓ/m² (300mℓ)
■ 合成ピレスロイド系殺虫剤B 0.3mℓ/m² (300mℓ)
— 無処理区ツツ数
()内はmℓあたりの散布水量

シバットガに対する防除効果 (8月処理 処理20日後)



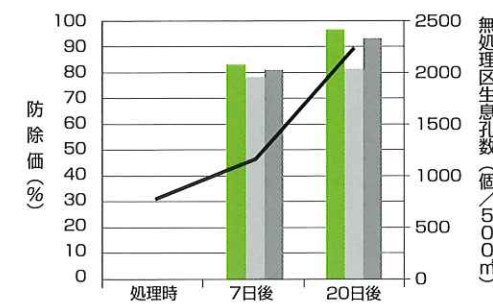
シバットガに対する使用方法



- 発生初期に散布する
- 日没前の散布が効果的
- 他の系統の殺虫剤とのローテーション散布を心がける

大切な芝生をシバットガとケラから守る

ケラに対する防除効果（5月処理）



5月処理	
試験場所	東海地方Cゴルフ場
処理時期	5月処理
散布水量	500mℓ/m ²
処理日	2017年5月12日
調査日	2017年5月26日(14日後)
	2017年6月12日(31日後)

■ トップチョイス0.06mℓ/m²
■ 合成ピレスロイド系殺虫剤A 0.5mℓ/m²
■ 合成ピレスロイド系殺虫剤A 1.0mℓ/m²
— 無処理区 生息孔数

■ 合成ピレスロイド系殺虫剤と同等以上の効果



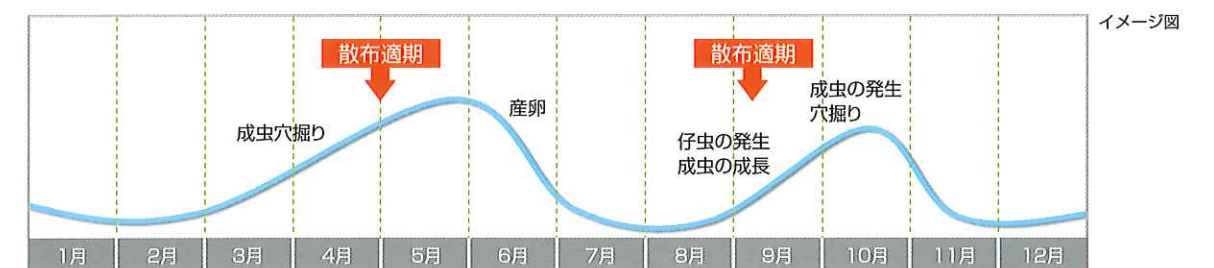
ケラに対する防除効果（6月処理）

■ 散布約1ヵ月後でも高い防除効果



6月処理	
試験場所	関西地方Eゴルフ場
処理時期	6月処理
散布水量	500mℓ/m ²
処理日	2017年6月5日
調査日	2017年7月3日(28日後)

ケラに対する使用方法



- 発生初期に散布する
- 発生消長は気温や水分に大きく左右される
- 乾燥している場合は散布前に散水しておく効果が安定
- 出来るだけ遅い時間帯（日没頃）の散布が効果的
- ケラの飛び出しは散布 24 時間以降が多い

防除方法のまとめ

シバットガ			ケラ		
使用時期	推奨薬量	防除方法	使用時期	推奨薬量	防除方法
6月～9月	0.05mℓ/m ² 希釈倍率4000倍 水量200mℓ/m ²	新規作用性 ローテーション散布の1つとして	5月～6月 9月～10月	0.0625mℓ/m ² 希釈倍率8000倍 水量500mℓ/m ²	長期残効が求められる場所に有効